

経営内容のお知らせ

Ehime Shinkin Bank Report

平成27年4月1日▶平成27年9月30日

平成27年9月期 業績の概要

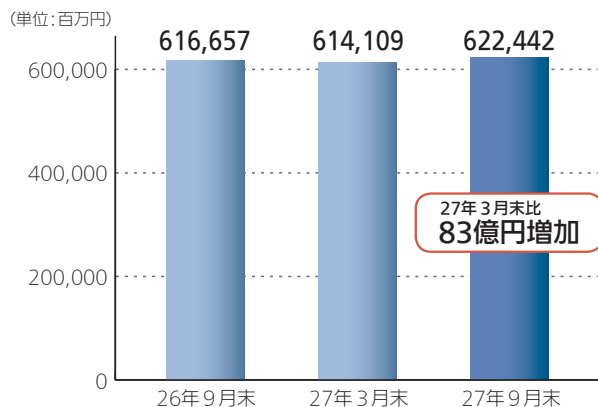
※計数はすべて単体ベースで表示しています。

預金の状況

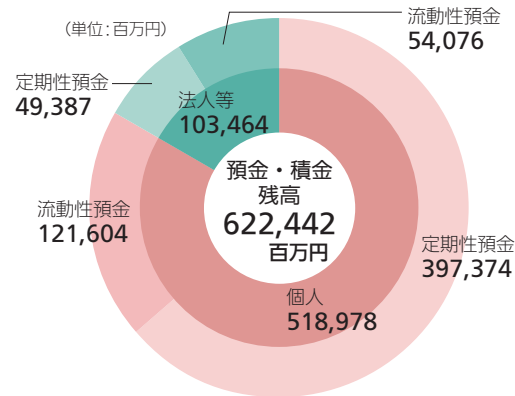
日々の活動を通じて、お客さまとのコミュニケーションを深め、ニーズや課題の把握に努めるとともに、ライフイベントやライフプランに合わせた提案活動に努めました。

地域の皆さまからの信頼の証である預金・積金残高は順調に増加しています。

預金・積金残高



人格別預金残高構成



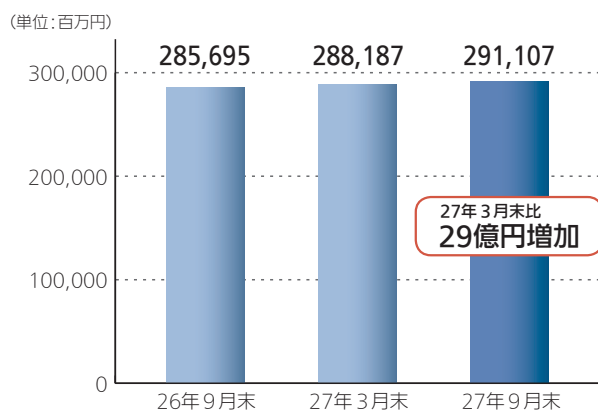
(注) 1. 「個人」には個人事業主を含んでいます。
2. 「法人等」には地方公共団体、金融機関等を含んでいます。

貸出金の状況

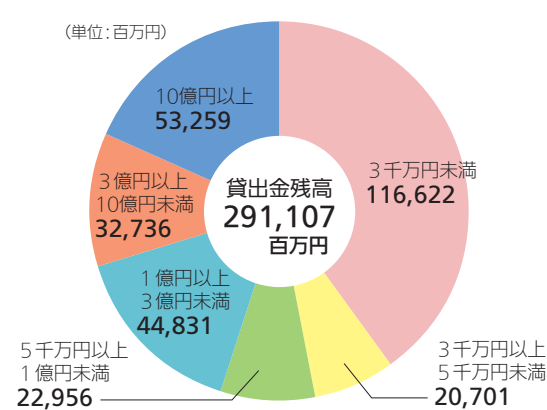
地域に根ざした中小企業・個人のお客さま専門の金融機関として、ニーズの把握や課題の早期発見・解決に努め、適時適切な融資に取り組みました。

地域の皆さまからお預かりした資金は、特定業種や特定先に偏ることなく、小口資金を中心に、地域のさまざまな業種の方々に幅広くご利用いただいています。

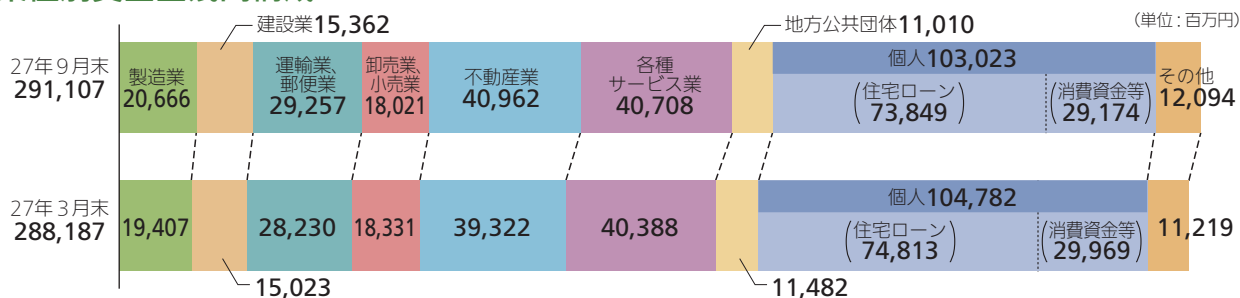
貸出金残高



金額階層別貸出金残高構成



業種別貸出金残高構成

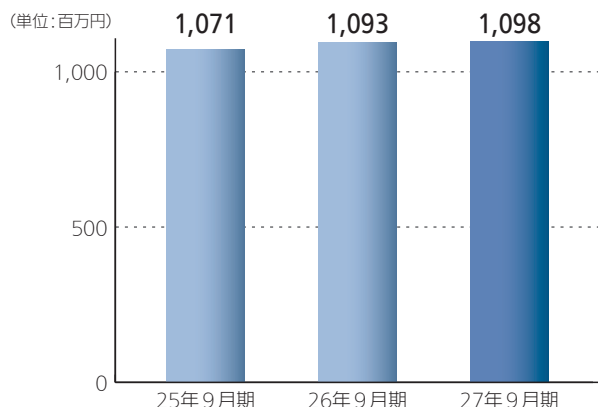


(注) 1. 「各種サービス業」は、「物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業」「飲食業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「その他のサービス」です。
2. 「その他」は、「農業、林業」「漁業」「鉱業、採石業、砂利採取業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業、保険業」です。

収益の状況

経営理念・経営方針に基づき、お客さま一人ひとりの夢の実現や課題解決に向けた活動に継続的に取り組みました。また、適切なリスク管理を行うとともに、有価証券の効率的な運用や経費の削減に努めました。9月期の当期純利益は7期連続で増益となり、引き続き10億円を超える安定した利益を計上しています。

当期純利益



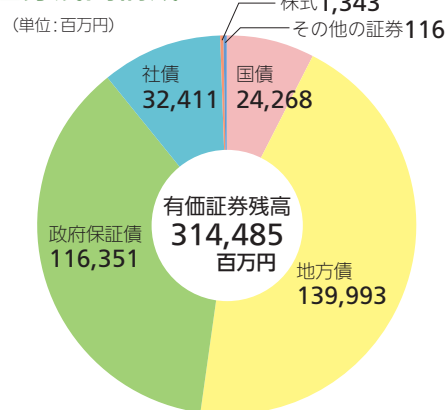
(単位:百万円)

	25年9月期	26年9月期	27年9月期
経常収益	7,208	5,944	5,794
業務純益	1,739	1,686	1,491
コア業務純益	850	873	903
経常利益	1,494	1,535	1,510
当期純利益	1,071	1,093	1,098

有価証券の状況

国債、地方債、政府保証債を中心に安全性・流動性に留意しながら運用を行っています。

有価証券残高構成



(注)「社債」は、「事業債」です。

有価証券の時価情報

▼その他有価証券

(単位:百万円)

区 分	貸借対照表計上額	取得原価(償却原価)	評価差額
株 式	707	465	242
債 券	311,925	302,243	9,682
国 債	24,268	23,471	796
地方債	139,993	136,221	3,772
社 債	147,663	142,551	5,112
そ の 他	116	89	27
合 計	312,750	302,798	9,952

(注) 1. 貸借対照表計上額は、9月末日における市場価格等に基づいています。
2. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含みません。

▼満期保有目的の債券

(単位:百万円)

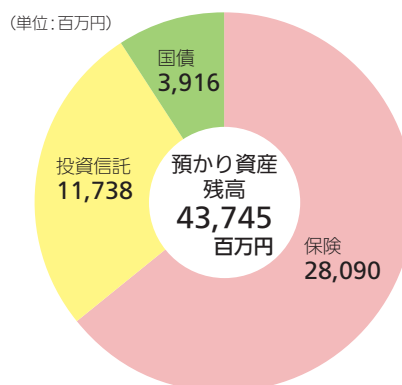
区 分	貸借対照表計上額	時 価	差 額
社 債	1,099	1,115	16
合 計	1,099	1,115	16

(注) 時価は、9月末日における市場価格等に基づいています。

預かり資産の状況

マネーアドバイザー（本部所属の預かり資産専担職員）や営業店の職員による定期的な訪問活動のなかで、お客さまの資産形成・運用のニーズに沿った情報提供や商品のご提案に努めました。

預かり資産残高構成

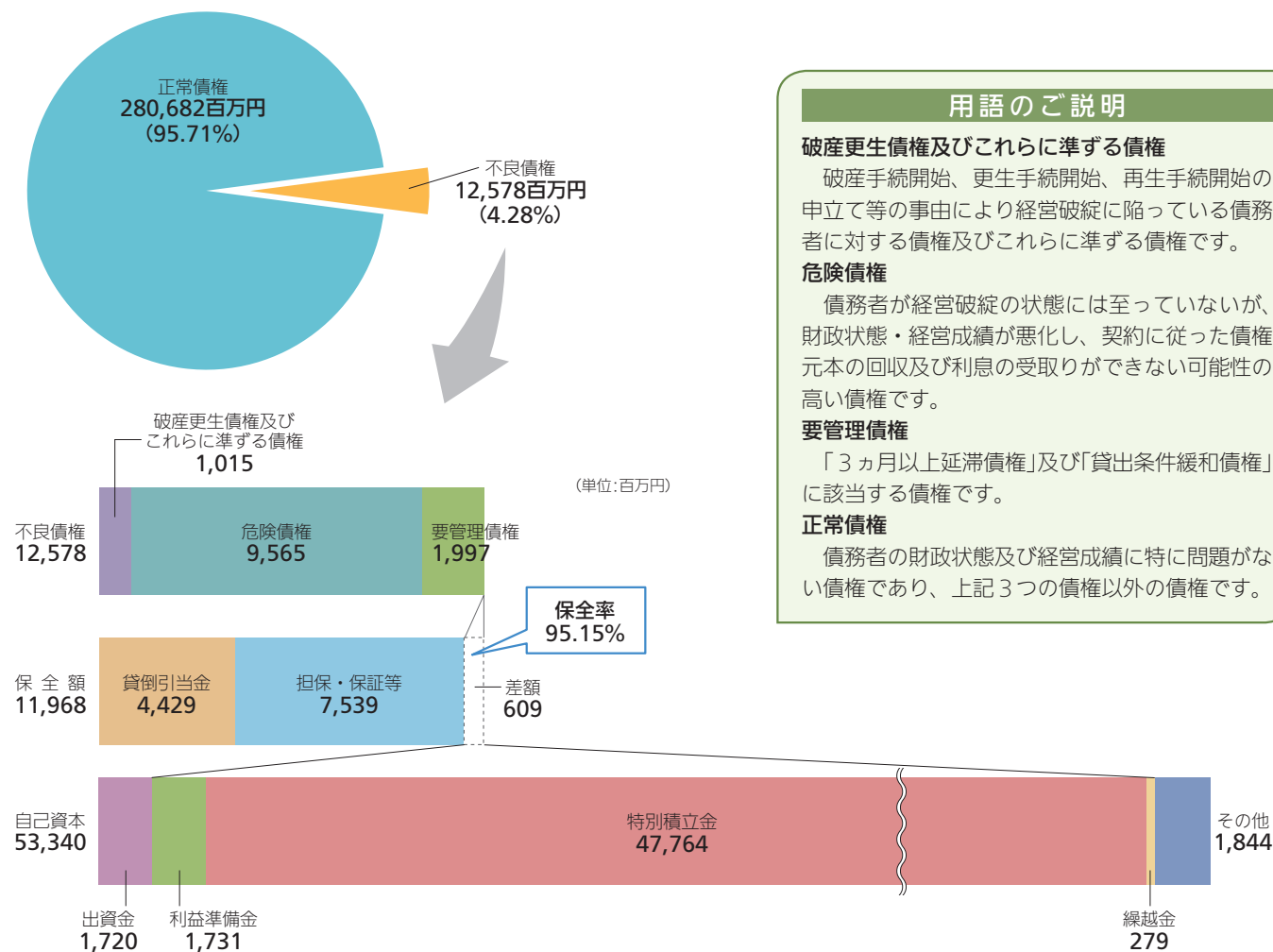


（注）1. 「投資信託」は、9月末日における市場価格等に基づいています。
2. 「保険」は、「年金保険」「終身保険」「学資保険」です。

金融再生法に基づく開示債権の状況

お客さまの資金繰りの円滑化に努めるとともに、地域事業振興部を中心に本部と営業店が連携し、経営改善等に積極的に取り組みました。

当金庫では厳格な基準のもと償却・引当を行い、不良債権に係る会計上の処理はすべて完了しています。不良債権額と保全額との差額609百万円に対し、当金庫の自己資本の構成の中心となっている内部留保額は49,775百万円であり、経営に与える影響は極めて少なく、健全性を十分に確保しています。



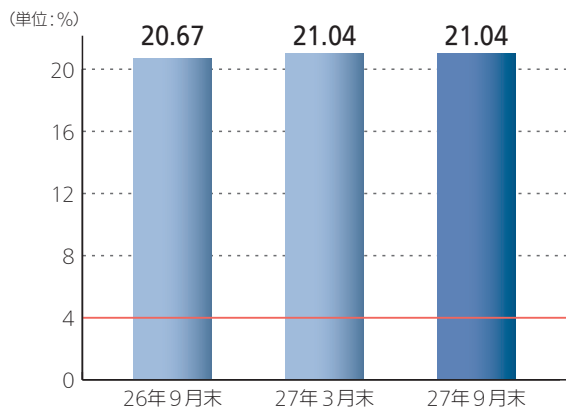
自己資本の状況

当金庫の自己資本は、会員の皆さまの出資金と毎期安定した利益を計上し積み上げてきた内部留保等によって構成されています。

経営の健全性・安全性を示す自己資本比率は21.04%となり、国内基準（4%）を大幅に上回る高い水準を維持しています。

自己資本比率

（単位：百万円）



自己資本	(A)	53,340
リスク・アセット等	(B)	253,469
自己資本比率	(A/B)	21.04%

用語のご説明

自己資本比率

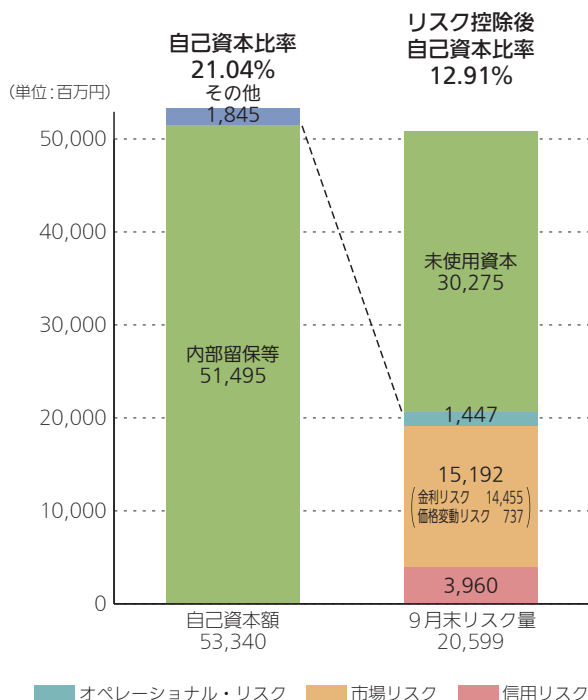
リスクに応じて計算された資産（＝リスク・アセット）に対する自己資本の割合を表すもので、金融機関の健全性を示す重要な指標とされています。

統合的なリスク管理の状況

当金庫では、個々のリスクを一元的に管理し、経営体力（＝自己資本）の範囲内でコントロールすることで、経営の健全化及び収益力の向上に努めています。9月末におけるリスク量がすべて顕在化したと仮定した場合の自己資本比率も12.91%と国内基準を大幅に上回る水準を維持しています。

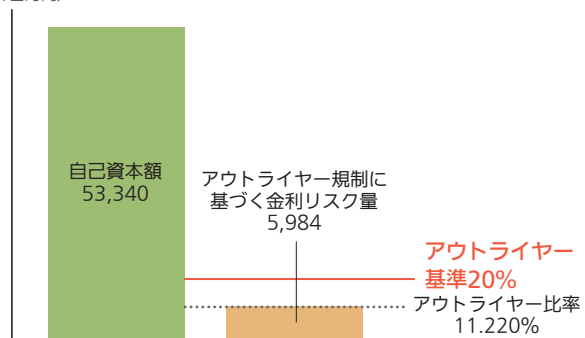
アウトライヤー比率も基準を下回っており、健全性を十分に確保しています。

自己資本に占めるリスク量



アウトライヤー比率

（単位：百万円）



用語のご説明

アウトライヤー規制

銀行勘定における金利リスク量が自己資本に対して20%を超える経済価値の低下が生じる金融機関（＝アウトライヤー銀行）について、金融庁が自己資本比率規制の早期警戒制度のなかでモニタリングを行うものです。

地域の成長と価値創生を目指して（平成27年度上期トピックス）

愛媛信用金庫では、平成27年4月1日より、「三か年計画―地域の成長と価値創生を目指して―」をスタートさせました。中小企業金融への取組みの強化と将来を見据えた人材の育成を最重要課題とし、「ガバナンスの強化」「営業基盤とコンサルティング機能の強化」「組織力の強化と生産性の向上」の3本の柱を基本方針として、愛媛県経済の活性化と持続的発展に向けてさまざまな施策に取り組んでいます。

働く女性が本気で経営を学ぶ「女性経営者塾」

松山大学経営学部の東淵則之教授を講師に迎え、リーダー力やマネジメント力の醸成を目指しています。現役の女性経営者7名にもサポーターとして運営にご協力をいただいています。



人や企業を結ぶ信用金庫の『つなぐ力』

信金中央金庫

連携

愛媛信用金庫

海外にも
ネットワークを
展開

支援

お客さま

支援

信用金庫業界の中央機関であり、海外にも駐在員事務所を有する信金中央金庫と連携し、現地でのサポートや情報発信など、お客さまの業務支援を行っています。

また、インパクト・ローン（外貨建ての融資）の取扱いをはじめ、外国為替業務を拡充し、積極的に取り組んでいます。



他信用金庫等の開催するビジネスフェア等への出展を支援しています。また、愛媛県と協力して出展企業を募集し、共同ブースで愛媛の魅力をPRしています。

愛媛の企業を
県外へ発信

埼玉



東京

創業・新事業をまるごと応援

創業応援パッケージ

創業セミナー

創業融資制度

各種
コンサルティング

創業個別相談

「創業応援パッケージ」では、創業計画の策定から創業後の成長期まで継続してサポートします。

事業を営むお客さまへの支援内容をまとめた事例集を発行しています

事業のライフステージに対する当金庫の取組みの具体的な事例や、お客さまの声、最新の情報を写真とともにわかりやすく掲載しています。

詳細につきましては、地域事業振興部までお問い合わせください。

（地域事業振興部 TEL：089-946-1121）



さまざまな年金サービス

年金を受給されているお客さまに対し、受給手続きのお手伝いや専用商品のご提案、旅行のご案内などを行っています。

また、来店が困難なお客さまには、ご自宅まで年金をお届けするサービスを実施しています。

年金に関するご相談はこちら

- ・無料年金相談会
スケジュールは、当金庫ホームページに掲載しています。

- ・年金相談フリーダイヤル

☎0120-605165

〈受付時間〉

月曜日・火曜日・水曜日（当金庫休業日を除きます）
9:00～12:00/13:00～15:00

一人ひとりのライフプランをお手伝い



マネーアドバイザーが定期的にお客さまを訪問し、お客さまのライフプランに沿った資金形成や資金運用に関する情報提供、最適な商品のご提案を行っています。

全店で3S活動

整理・整頓・清掃を行い、働きやすい職場環境をつくることで、業務効率化を推進する活動を全店で実施しています。

浴衣姿で道後温泉をPR



「蛭川実花×道後温泉 道後アート2015」にあわせ、地元ホテルと連携し、蛭川氏がデザインを手がけた色鮮やかな浴衣を着用してお客さまをお迎えしました。



3S活動により集められた文房具等の余剰品は、NPO法人えひめグローバルネットワークを通じてモザンビーク共和国の子供たちへ届けられました。

CMオンエア開始！



地域の皆さまにいつも寄り添い、ともに未来へ歩んでいく愛媛信用金庫の姿勢をより多くの方に知っていただくためのCMを制作しました。

現在、テレビや銀天街に設置されているストリートビジョン等で放送されています。

上期の主な取組み

- 4月 1日 ● 三か年計画一地域の成長と価値創生を目指して一スタート
- 6日 ● 第19回地元企業新入社員合同研修会開催
- 5月 1日 ● クールビズ実施（～10月31日）
- 14日 ● 女性経営者塾～このはなさくや媛の会～開講
- 29日 ● 四国地区10信用金庫で「大規模災害時における相互支援に係る協定書」締結
- 6月 3日 ● 全店に耳マーク表示板を設置
- 15日 ● 信用金庫の日 全店で清掃活動等を実施
- 22日 ● 新商品 しんきん震災復興応援定期積金「しんきんの絆Ⅱ」取扱い開始（～平成28年1月29日※）
※募集総額に達し次第取扱いを終了します
- 23日 ● ガバナンス強化を目的とした定款変更を実施（監事の定数変更、所在不明会員の除名に関する変更）
- 7月 21日 ● リフォームローン、無担保住宅ローンで空き家解体費用取扱い開始

利用しやすい店舗づくり

店舗外ATM開設

地域の皆さまにより便利に利用していただけるよう、店舗外キャッシュコーナーを新たに3ヵ所開設しました。

- ・DCMダイキ大洲店出張所（4月23日）
- ・フジ八幡浜店出張所（7月17日）
- ・放射線第一病院出張所（8月31日）

全店に耳マーク表示板設置

聴覚に不安のあるお客さまに対し、コミュニケーションをサポートするツールとして、「耳マーク表示板」を全営業店の窓口に設置しました。

本マークを指し示していただく等のお申し出により、筆談等でご用件を承ります。



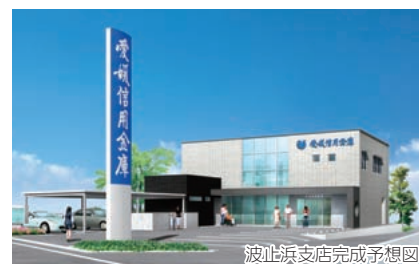
お知らせ

店舗リニューアル

平成28年春に平井支店、波止浜支店が装いも新たに生まれ変わります。工事期間中はご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



平井支店完成予想図
松山市平井町1396番地5 TEL:089-976-1111



波止浜支店完成予想図
今治市波止浜1丁目1番1号 TEL:0898-41-8117

平井支店は、現在建て替え工事のため仮店舗で営業しています。

▶ 仮店舗住所：松山市平井町2264番地 ※電話番号は変更ありません。
仮店舗内のATMは、平日8:45～17:00の営業となります。
パルティ・フジ平井内に設置している当金庫ATMは休日も21:00までご利用いただけます。

店舗統合

10月16日（金）をもちまして、土橋支店、住吉支店の営業を終了し、それぞれ雄郡支店、三津浜支店へ統合いたしました。

長年支えてくださった地域の皆さまへの感謝の気持ちを忘れることなく、より一層のサービス向上に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

統合後のお取引などご不明な点やご質問につきましては、継承店である雄郡支店、三津浜支店または営業統括部までお気軽にお問い合わせください。

●雄郡支店 TEL:089-946-3443

●三津浜支店 TEL:089-951-0178

●営業統括部 ☎0120-132-220

※土橋支店・住吉支店のATMは引き続きご利用いただけます。（店舗外ATM）

詳しくはお近くの営業店、相談プラザへお問い合わせください。



「愛」ある街のホームドクター

〒790-0002 松山市二番町4丁目2番地11
TEL 089-946-1111（代表）
<http://www.shinkin.co.jp/ehime/>



本資料は、情報開示頻度の拡充といった観点から、半期における当金庫の現況をピックアップして作成したものであり、信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第21条に基づくディスクロージャー誌ではございません。



本資料は環境にやさしい植物性インキを使用しています。

見やすい紙面作りのためユニバーサルデザインフォントを使用しています。